

【資料リスト】

①平成 29 年度 11 月理事会資料

②2017 - 11 月理事会 その他報告事項【回覧資料】

【2017 - 11 月理事会 その他報告事項】

1. 平成 29 年度 神奈川県保健衛生表彰式について 【神奈川県知事】
2. 第 36 回神奈川県病院学会プログラム及び抄録について（送付） 【県病院協会】
3. 第 63 回神奈川県公衆衛生学会の開催について（ご案内） 【県公衛協】
4. 平成 29 年度「かながわレッドリボン賞」推薦について（依頼）
【県エイズ対策推進協議会】
5. お礼状 【神奈川県放射線友の会】
6. 創立 70 周年記念大会 講演名義承諾書・・・①医専連 ②県病院協会 ③川崎市
7. 神奈川マンモグラフィ講習会負担金の請求について ※5 万円振込済み【県医師会】
8. 平成 30 年横浜市病院協会「新年祝賀会」の開催について（ご案内）【市病院協会】
※H30 年 1 月 10 日（水）18 時～
横浜ベイシェラトンホテル&タワーズ 5 階「日輪 I II」12 / 20 迄に回答

以上

議題番号	報告事項 ・ 審議事項	
<p>議題 1</p>	<p>前回（第7回）理事会議事録確認：松本理事より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訂正事項 <p>議事録採取者「金岩 清雄」 → 「松本 好正」に訂正。</p> <p>議題 2-2 委員会報告</p> <p>6. 編集委員会</p> <p>「役員選挙公示」 → 「役員選挙告示」に訂正。</p> <p>9. 医療被ばく最適化推進委員会</p> <p>「KART60 周年記念大会」 → 「KART70 周年記念大会」に訂正。</p> <p>議題 3-1 創立 70 周年記念大会</p> <p>「目標は後 30 です」 → 「目標はあと 30 です」に訂正。</p> <p>議題 3-3 JART 関連セミナー・講習会</p> <p>「JART 関連のセミナー今年度はこれが最後になります」 → 「今年度の JART 関連セミナーはこれが最後になります」に訂正。</p> <p>上記を修正することにより承認された。</p>	承認
<p>議題 2 2 - 1</p>	<p>報告事項</p> <p>会長報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11 月 11 日（土）神奈川県放射線友の会 創立 10 周年記念式典 ＜田島副会長より参加報告＞ <p>歴代会長、歴代役員が参加されており、交流を図ることができ有意義であった。親睦を兼ねた会であるとの印象を持った。本会執行部としては今後も諸先輩方の意見を聞きながら、事業を行っていければと感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 11 月 12 日（日）神奈川県診療放射線技術講習会/四役会 ・ 11 月 13 日（月）第 36 回神奈川県病院学会 佐藤副会長、松尾理事が写真係として参加した。 ・ 11 月 14 日（火）創立 70 周年記念大会組織委員会 ・ 11 月 15 日（水）神奈川県医療専門職連合会理事会 ・ その他 <ul style="list-style-type: none"> ① 県会員の動向（資料 P15） 平成 29 年 10 月 31 日現在 会員 1,458 名、賛助会員 38 社、新入会員 4 名 ② 叙勲、表彰について（資料 P1） 千田監事が秋の叙勲（瑞宝双光章）、渡邊理事が神奈川県保健衛生表彰、松本理事が神奈川県公衆衛生表彰をそれぞれ受賞された。叙勲を含め現役の方が受賞されたのは非常に珍しいことであり喜ばしいことである。 ＜佐藤副会長より補足＞ 11 月 15 日開催の神奈川県医療専門職連合会理事会にて今後ハロー横浜等のイベント時には実行委員会を設置し運営していく方針が示された。本会からも実行委員を選出し携わることになるであろうとの説明があった。 	報告

各委員会報告

1. 総務委員会：江川理事より報告 理事会資料 P11～15

- ・ 11月17日（金）に総務委員会を開催した。詳細は議事録参照。

1・1 データベース委員会：印南理事より報告

神奈川県放射線技師会と日本診療放射線技師会の会員情報不一致について委員会にて検討を行った

- ・ 自宅情報の郵便番号・住所などが異なる。
→現システム（神奈川県放射線技師会）の情報を現行のまま継続。
- ・ 勤務先情報の郵便番号が変更されていない、施設が同じでも施設名称が異なる。
→新会員情報システムでは勤務先マスターからの選択となるため、施設名称を〇〇法人△△会◇◇病院と統一する。
※ホームページに掲載されている名称を正式名称とする。
委員が分担し、約350施設に関して確認作業を行っている。
上記に関して IT ネット社からもタックシールを分けた方が配送するときに名前を作りやすいとのアドバイスをいただいている
- ・ 11月29日（水）16:00より事務局とデータベースの進捗状況と内容の確認に関して打ち合わせを予定している。

松本理事）会員情報に変更があった場合、本人からの申請がないと訂正できないのか。

印南理事）本人からの申請がないと訂正はできない。

田島副会長）個人情報であるため、本人からの申請がないと訂正できないので、該当者にはお伝えいただきたい。

江川理事）定年の方には個別に確認しても良いのではないか。

印南理事）自宅の住所情報が入力されていない会員も存在する。

伊藤理事）以前は2年に1回程度、会誌に会員情報に変更があった方に申請を促す案内を掲載していたことがあるので、検討してはどうか。

印南理事）昨年、会員情報に変更になった方へ申請を促す案内をホームページに掲載した実績はあるので、再度掲載した方がよいか。

大内会長）毎年3月・4月の異動時期に、ホームページ上に会員情報に変更があった方へ申請を促す案内を掲載する。

報告

2. 財務委員会：伊藤理事より報告 理事会資料 P17～P23

- ・ 平成29年度10月分 収入の部（残高試算表（B））について
正会員入会費：2万4千円 4名（正規入会者2名、初年度入会者2名）
正会員会費：入金26万4千円
70周年記念大会協賛金：山王印刷 3万円
気管支模型キット：3キット販売（栃木県立がんセンター）
- ・ 事業支出について
10月は特筆すべき支出はなかった。

	<ul style="list-style-type: none"> ・会費納入者数について 10月会費納入者は33名であった。 再請求を行ったので来月からの納入に期待したい。 ・新入会者について 昨年度も同様の推移であり、最終的には100名程度の入会があったので、今年度もあと40名程度の入会を期待したい。 <p>3. 組織委員会：松尾理事より報告 理事会資料 P24</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各地区活動報告について 各地区とも活発に活動をしていただいている。 ・情報共有事項について リードレスペースメーカーについて情報を共有する取り組みを行った。 ・会費合算請求について 組織委員会にて資料を作成し配布を行った。 各地区から問題提起がないか地区委員に問い合わせを行った。 会費合算請求について過去にさかのぼった意見もあったが個別の対応や各地区に出向いて説明を行うなどの細かい対応をしていきたい。 ・助成金申請について 各地区に助成金申請書の配布を行った。 横浜中部地区は会長や委員が不在であるため、地区技師会存続のための働きかけを行っている。 ・次回組織委員会にて傷害保険についての説明を行う予定である。 金岩理事) 本会が公益社団法人になる以前は、合算請求であったのか 山崎監事) 社団法人の当時、本会を通じて日本診療放射線技師会に会費を納めていた時期があり、その後公益社団法人になった際に個々での納入に切り替わった。さらに今回の合算請求に至る経緯があり、これまでの変遷が混乱を招いているのではないか。 松尾理事) これからも真摯に対応していきたい。 <p>4. 学術委員会：尾川理事より報告 理事会資料 P25～31</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月12日(日)に学術委員会を開催した。詳細は議事録参照。 ・平成29年度神奈川県診療放射線技術講習会について 第1回 午前184名、午後143名の参加であった。 第2回 午前71名、午後51名の参加であった。 講演内容により参加者数が増減することが端的に表れている。 ・第4回一般撮影ポジショニング実践セミナーについて 受講者は75名であった。 特徴として、会員と非会員がほぼ同数であった点が挙げられる。 <p>5. 渉外委員会：松本理事より報告 理事会資料 P33～38</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会を11月27日(月)に予定している。 	<p>報告</p> <p>報告</p> <p>報告</p>
--	--	-------------------------------

	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年度会員調査票は 11 月 30 日（木）の委員会時に集計作業を行う予定である。 ・平成 29 年度施設調査の調査項目「検像」の調査結果について一次検像、二次検像という文言は使用されていない。 検像の注釈として“端末から直接検像している”もしくは“他の端末で検像している”等を入れることを検討している。 ・集計作業に Google フォームの使用を検討している。 <p>9. 災害対策委員会：佐藤副会長より報告 資料 P45</p> <ul style="list-style-type: none"> ・神奈川県災害時医療救護マニュアルの一部改訂について 二次被ばく医療機関として依頼している北里大学病院が測定器の古さ、設備の面で難色を示し、整備ができていない状況である。 神奈川県放射線技師会が原子力災害医療協力機関として手を挙げて頂いたが来年度以降の検討課題とさせていただきたいと神奈川県から回答があった。 ・講習会案内について 神奈川県緊急被ばく医療講習会が 12 月 4 日（月）18:00 から川崎市立川崎病院にて開催される。 <p>10. 医療被ばく最適化推進委員会：渡邊理事より報告 資料 P47～53</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療被ばく最適化推進委員会を 11 月 13 日（月）に開催した。 議事録は後日送付する。 ・一般撮影分野の論文は 3 回目の投稿中である。 ・CT 調査については、現在結果の入力、検証作業が終了し今後は論文化に向けた作業にはいる。 なお、調査結果は回答に協力いただけなかった施設を含め全施設に送付予定であるので、予算面でのご理解およびご協力をお願いしたい。 ・平成 30 年度調査予定の IVR について、調査項目と調査方法の検討を行い、調査方法については Google フォームを使用し、Web 上で入力してもらう方法を検討中であり、実現できれば予算を削減できる可能性がある。 ・平成 30 年度予算案の修正について <ul style="list-style-type: none"> ①IVR の調査票を CT 調査と同様に会員以外の施設にも送付することにしたため、300～500 弱の施設数となり、調査票発送費および返信費、報告書送付費および印刷費の増額をお願いしたい。 ②CT の調査結果報告書の送付費用は平成 29 年度予算に計上しており、施設数の増加に伴う増額をお願いしたい。 ③ネイティブチェック費用について 本委員会の活動目的としては、調査だけではなく調査研究と論文化のすべての作業に関する技術の習得も掲げている。英語論文を出すためのネイティブチェックは必須であり、可能であればネイティブチェッ 	<p>報告</p> <p>報告</p>
--	---	---------------------

<p>議題 3 3 - 1</p>	<p>大内会長) J-RIME の報告修正について委員会一任とする。 各委員会報告終了</p> <p>1. 平成 30 年度事業計画案：大内会長より説明 理事会資料 P3～5</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 30 年度事業計画案を作成したので、必ず確認していただき修正等あれば 11 月末までにメールで大内会長まで報告していただきたい。 ・来月の理事会にて承認をとる予定である。 ・追加事業として第 5 次中長期将来計画委員会の設置を検討している。第 5 次中長期将来計画委員会ほどの定款該当条項に入れるべきか意見をメールにていただきたい。 <p>2. 平成 30 年度予算案：伊藤理事より説明 理事会資料別冊</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各委員会より提出された予算案に基づき作成した。 ・収入について <ol style="list-style-type: none"> 1) 初年度入会者を 50 名、中途入会者を 40 名の合計 90 名を新入会員とし受取入会金は 500,000 円と試算した。 2) 会費収入は 1,450 名分で 11,600,000 円、賛助会員会費収入は 38 社で 860,000 円、生涯教育事業委託料 150,000 円、事務手数料等の雑収益で 300,000 円を見込んでいる。 3) 上記合計 13,410,000 円の収入を見込んでいる。 ・支出について <ol style="list-style-type: none"> 1) 各委員会の会議費と交通費は欠席等を考慮し 8 割で計上した。 2) 公 1：渉外委員会活動のスタッフ数増加に伴い 29 年度と比較し 410,000 円の増額となっている。 3) 公 2：学術委員会は 29 年度と同様のものが計上されている。 4) 他 2：胸部画像研修セミナーで使用する気管支模型キットの作成やテキスト見直しに伴う費用が計上されている。 5) 公 3：組織委員会、災害対策委員会は計上されたものをそのまま載せている。医療被ばく最適化委員会から修正が出されたが、今回の資料には反映されておらず、事業合計が 130,000 円程度増額になる見込みである。財務計上として神奈川県医療専門職連合会会費や 2 役の出張費が計上されている。 6) 公 4：編集委員会からは詳細な見積もりをいただいているのでそのまま計上している。また、広報委員会では雑費として委員会用 PC の費用が計上されている。 9) 他 1：厚生委員会が開催するボウリング大会、ゴルフ大会の各事業は収支を合わせて計上している。また、施設調査は行うが会員調査は行わないので 29 年度より減額となっている。 10) 管理費：理事会の交通費、食費に関しては理事 18 名分で計上している。 ・各委員会から提出された予算案を収入に対しての支出とするとプラス 	<p>承認</p> <p>報告</p>
-----------------------	---	---------------------

<p>3 - 2</p>	<p>77,882 円となるが、これは毎年行っている積み立てを計上していない場合の収支となっている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仮に、積立金額を 330,000 円に設定した場合に収支が 0 円になるように公 1 の雑費 290,000 円を削減した予算案を、藤原会計事務所の青柳先生に提出し公益三法の審査をしていただいた結果、公 1～公 4 の事業はすべてマイナス事業で“適応”、公益比率は 57%で“適応”であったが、遊休財産の保有限度の判定に関して“不適合”となった。 ・保有限度額の上限を超えた 1,000,000 円についての調整として、積立金額の増額、あるいは固定資産になるものを購入する等のアドバイスを青柳先生からいただいた。 ・状況により事業内容の削減等も必要になってくる可能性がある。 ・今後 2 役とも相談し調整していきたい。 <p>大内会長) 来月の理事会までの間に 4 役会で検討および調整を行うが、必要に応じて各委員会の委員長に説明や聴取をすることもあるので協力をお願いしたい。</p> <p>大内会長) 予算案について、不明な点はないか。</p> <p>松本理事) 消費税の増税は想定しているのか。</p> <p>伊藤理事) 増税は想定しておらず、増税の場合はそれを加味したもので予算案を再提出していただくことになる。</p> <p>会費合算請求に関連した神奈川県放射線技師会会員の除籍期間 大内会長より資料に沿って説明 理事会資料 P1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会費合算請求に関する案内を会誌とホームページへ掲載する。 ・移行措置として 3 年で除籍にするのではなく最長 5 年の除籍期間が発生する。 <p>山崎監事) 平成 27 年より 3 年間未納の会員は平成 30 年には除籍になるのではないか。</p> <p>大内会長) 先月の理事会でも説明したが、除籍までの期間を日本診療放射線技師会と同じ扱いにするため、移行措置として現行の 3 年で除籍になるのではなく、平成 30 年から 2 年連続未納だった場合の最長 5 年後に除籍となる。</p> <p>松尾理事) 日本診療放射線技師会の会費に、当会の会費が上乗せして請求されることになり危機感を与えることができるのではないか。</p> <p>大内会長) 平成 28 年から 2 年未納の会員が来年から 2 年連続して未納の場合には 4 年間、平成 29 年から 1 年未納の会員が来年から 2 年連続して未納の場合は 3 年間と、それぞれ除籍までの期間が延長されることになる。</p> <p>新たに平成 30 年度から 2 年連続して未納の会員が平成 32 年度に除籍となる。</p> <p>本会のみ会員も同様な扱いとなる。</p>	<p>報告</p>
--------------	---	-----------

	<p>上遠野理事) これからは日本診療放射線技師会と本会の両方に入会している会員しか認めないのか。</p> <p>田島副会長) 本会のみ入会している会員も存在するため認めないわけではない。会費合算請求の移行措置としてこのような除籍期間を暫定的に設けた。</p> <p>上遠野理事) 今後は日本診療放射線技師会だけ入会している会員は存在するのか。</p> <p>田島副会長) 存在するのではないか。ただし、日本診療放射線技師会でどう処理しているかは不明である。</p> <p>上遠野理事) 本会だけ入会している会員は存在するか。</p> <p>大内会長) 存在する。ただし、日本診療放射線技師会のみ会員は平成 32 年度以降は存在しなくなる。</p> <p>上遠野理事) 会費は本会の事務局から請求するのか。</p> <p>大内会長) 本会事務局から請求する。</p> <p>山崎監事) 会費未納会員数は。</p> <p>大内会長) 3 年未納の会員は数名。</p> <p>印南理事) 本会の会員で 2 年未納は約 100 名、1 年未納は約 300 名である</p> <p>大内会長) 平成 30 年度から 2 年連続して未納の会員が平成 32 年度に除籍となるのでご承知願います。</p> <p>会費未納への対応のお知らせ 大内会長より説明 理事会資料 P2</p> <p>大内会長) 1 月号会誌に掲載を予定しているが、本会のみに入会されている会員への案内が必要でしょうか。</p> <p>松尾理事) “本会のみという事はどういうことか” 等の質問に対応しなければならぬことを想定すると案内は不要と考える。</p> <p>田島副会長) 本会の対応としては、本会のみ会員に対して案内を送る方法や、会誌やホームページに案内を掲載する方法があるが、本人が本会のみ会員であると認識しており、事務局より請求書が送付されれば払うことが想定されるので、あとは詳細につき問い合わせがあった場合に個別に対応すればいいのではないかと考える。よって、紙面等で案内する必要性はないと考える。</p> <p>上遠野理事) 意識して本会にだけ入会している会員と、本人は日本診療放射線技師会と本会に入会していると思っているが、結果として本会だけにしか入会していない会員が存在するのではないか。</p> <p>松尾理事) 組織委員会では地区委員に対して、合算請求に関して不明な場合は個々に事務局に問い合わせるよう、また納入期限は守るよう各地区で広報いただくようお願いしている。</p> <p>田島副会長) 先ほどの上遠野理事からのご質問ですが、今回の会費合算請求と何が関連するのでしょうか。</p>	<p>報告</p>
--	--	-----------

	<p>上遠野理事) 本来は日本診療放射線技師会と本会の両方に入会していただきたく、そこに繋がれば良いのではないかと考えるが。</p> <p>田島副会長) それは、今回の審議内容とは異なるのではないのでしょうか。あくまでも、合算請求に関しての話であり、本会のみに入会されている会員への会誌等での案内が必要か否かを問うているのですが。</p> <p>千田監事) 会告により、日本診療放射線技師会は退会したいが、本会のみ入会できるのかとの問い合わせがくるのではないか。</p> <p>山崎監事) 未納である方への納入を促す案内は掲載したほうがよいのではないか。</p> <p>田島副会長) すでに 11 月発行の会誌で案内を掲載している。</p> <p>松尾理事) 組織委員会では会費合算請求についての資料を独自に作成し各地区委員に配布している。</p> <p>大内会長) 会費納入方法変更に関するお知らせとして 11 月発行の会誌に掲載しており、会費未納の方には未納分の金額が加算された請求額になる旨の案内もしている。</p> <p>田島副会長) 会費合算請求に関しての案内をすでに掲載しているので、未納のお知らせは不要ではないか。</p> <p>大内会長) 会費未納の方へのお知らせは掲載しない。 本会のみの方から問い合わせが来た時点で必要に応じて対応を検討する。</p> <p>印南理事) 会費合算請求の問い合わせは平成 30 年 3 月末までは事務局か。</p> <p>大内会長) 会費請求が送付される 3 月中旬以降は日本診療放射線技師会だと考えるが、本会事務局と日本診療放射線技師会とで調整が必要である。</p> <p>3 - 3 創立 70 周年記念大会 田島副会長より説明 理事会資料 P7～9</p> <ul style="list-style-type: none"> ・創立 70 周年記念大会第 17 回組織委員会の開催日を 11 月 14 日に訂正。 ・賛助会員への広告掲載依頼および協賛金の依頼を各理事からお願いしたい。 ・第 17 回神奈川学術大会一般演題を 30 演題目標で募集しているが、現在演題登録数が 13 演題に留まっている。11 月 30 日が募集期限となっているため、各理事の所属施設からのご協力をお願いしたい。 ・大会当日は各理事にスタッフとして参加していただくが、各委員会の委員の方にもスタッフとして協力いただきたい。参加協力についてご理解いただくよう声掛けをお願いしたい。また、新春情報交換会を兼ねているので、記念祝賀会への参加も促していただきたい。 <p>松尾理事) 祝賀会参加費はいくらか。</p> <p>田島副会長) 10,000 円です。</p> <p>松尾理事) 記念大会チケットの原案を作成し、裏面に領収書を記載する予定である。</p>	<p>承認</p> <p>継続</p> <p>継続</p>
--	---	-------------------------------

<p>3 - 4</p>	<p>田島副会長) 70 周年記念大会組織委員会にて検討させていただく。 田島副会長) 記念大会についてご意見等あれば 70 周年記念大会組織委員会までお願いしたい。 大内会長) 賛助会員への広告掲載依頼および協賛金の依頼は重複しても構わないので各理事からお願いしたい。 松本理事) 協賛金は賛助会員からのみであるのか。 田島副会長) 基本は賛助会員からのみである。</p> <p>JART 関連セミナー・講習会 田島副会長より説明 理事会資料 P25～27</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 4 回 業務拡大に伴う統一講習会を 10 月 28 日 (土) 29 日 (日) に神奈川県立がんセンターにて開催し、修了者は 16 名であった。 ・第 5 回 業務拡大に伴う統一講習会を平成 30 年 2 月 24 日 (土) 25 日 (日) に開催予定であるが、会場未定であるため会場が決定したらお知らせする。 ・来年度のスケジュール案について 今年度と同様な開催スケジュール案を日本診療放射線技師会へ提出したので、ご承知ください。なお、業務拡大に伴う統一講習会の開催規模については確定していない。 <p>松尾理事) 業務拡大に伴う統一講習会の募集開始は開催 1 か月前からか。 田島副会長) 募集開始は年明けの予定である。 江川理事) 業務拡大に伴う統一講習会は来年度が最後の開催であるとの案内はでるのか。 田島副会長) 業務拡大に伴う統一講習会は平成 32 年度まで開催予定であるが、どのような開催規模になるかは不明である。 佐藤副会長) 来年 2 月の業務拡大に伴う統一講習会の開催場所の候補は上がっているのか。 田島副会長) 会場候補は現在検討中である。</p>	<p>報告</p>
<p>3-5</p>	<p>来年度役員理候補日程 江川理事より説明 理事会資料 P14</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選挙管理委員会を 11 月 12 日 (日) に大屋選挙管理委員長、曾我部委員、佐藤副会長および江川理事の参加で開催した。 ・以前の理事会に提出した、役員選挙告示文について下記項目を追記修正した。 <ol style="list-style-type: none"> 1) 立候補届出受付期間を平成 30 年 2 月 14 日 (水) ～2 月 19 日 (月) としていたが、現理事の立候補届出が理事会開催日になるであろうと想定し、平成 30 年 2 月 14 日 (水) ～2 月 22 日 (木) に変更。 2) 期間内に休日があるため“但し、土・日は除く”の文言を追加。 3) 郵送受付期限は平成 30 年 2 月 22 日 (木) を必着とする。 上記 3 つの修正に関してご承認いただきたい。 <p>大内会長) 事務局へ持参する場合、受付時間は 14 時から 17 時 30 分の間であるので注意していただきたい。</p>	<p>報告</p> <p>承認</p>

<p>3-6</p>	<p>その他</p> <p>大内会長) 11月24日(金)に神奈川県医療職専門職連合会市民公開セミナーが開催されるので多くの理事の参加をお願いしたい。</p> <p>12月5日(火)に県民集會が開催されるので参加いただきたい。</p> <p>渡邊理事) 神奈川県保健衛生表彰にご推薦いただき、ありがとうございます。</p> <p>松本理事) 神奈川県公衆衛生表彰にご推薦いただき、ありがとうございます。</p> <p>千田監事) 技師会の推薦により、瑞宝双光章を受章することができました ありがとうございます。</p> <p>千田監事より総評</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会費合算請求について、数年は対応に苦慮するかとは思いますが、これを原因に退会される会員がいても仕方がないのではないかと思う。 ・厳しい予算案ではあるが、事業の経費削減や会員数増加を目指して事業を展開していただきたい。 <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>報告</p>
------------	---	-----------